

葉洋菜類

- ア ス パ ラ ガ ス
- 白 ネ ギ
- ブ ロ ッ コ リ ー
- カ リ フ ラ ワ ー
- キ ヤ ベ ツ
- パ セ リ
- ほ う れ ん そ う

アスパラガス登録農薬適用表(1) (殺菌・除草剤)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	標準-使用量(10a当り)	100g調整時の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		14	リゾレックス水和剤	株養成期(播種又は定植時から茎葉刈り取り期まで)但し、収穫14日前まで 収穫後から茎葉刈り取り期まで但し、収穫14日前まで	3回以内	500倍(100~300g)	200g	苗立枯病 茎枯病	○	×	水和剤	散布	トルクロホスメチル	
		3	トリフミン水和剤	収穫7日前まで	1回	1,000倍(3g/㎡)	100g	立枯病	○	○	水和剤	灌注	トリフルミゾール	
		3	ラリー水和剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(150~300g)	25g	斑点病、褐斑病、茎枯病	○	○	水和剤	散布	ミクロブタニル	予防・治療に効果。晩夏〜秋期の斑点病対策
		3	スコア顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(200~500g)	50g	斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ジフェノコナゾール	予防・治療に効果があり散布適期が広い
		M7	ベルコート水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~500g)	100g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジアンベルシル酸塩	茎葉刈り後〜萌芽前の土壌表面殺菌に適す
		M1	キノンドーフロアブル	収穫3日前まで	5回以内	600~800倍(100~300g)	167~125ml	茎枯病、べと病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	薬害注意
		M1	クプロシールド	—	—	1,000倍(100~400g)	100ml	斑点病、茎枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	薬害注意
		M1	ICボルドー66D	— 収穫終了後	—	100倍(100~300g) 50倍(100~300g)	1g 2g	茎枯病 斑点病、茎枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	使用時期は収穫終了後
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	水和剤	散布	イブロジオン	予防剤として使用
		M5	ダコニール1000	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(100~400g)	100ml	褐斑病、茎枯病、斑点病、疫病	○	×	フロアブル	散布	TPN	茎枯病予防に効果あり
		7	アフエツフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	茎枯病、褐斑病、斑点病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	褐斑・斑点病予防剤として使用、茎枯病には効果がやや弱い。
		11、7	シグナムWDG	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~500g)	67ml	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラロキストロビン、ボスカリド	茎枯病・斑点病・褐斑病の予防・治療に使用(薬害注意)
		11、4	ユニフォーム粒剤	収穫前日まで	3回以内	12kg	—	疫病	○	△	粒剤	株元散布	アゾキシストロビン・メタラキシルM	アミスターと同成分のため総使用回数に注意。
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、斑点病、褐斑病	○	△	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	茎枯病の基幹的防除剤(薬害注意)(除草剤不要)
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~300g)	33g	褐斑病、茎枯病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	茎枯病の基幹的防除剤(薬害に注意)
	11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	斑点病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	薬害注意	
	1	ベンレート水和剤	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50g	茎枯病、株腐病	○	○	水和剤	散布	ペニミル	薬剤抵抗性確認 効果低下の可能性あり	

◆FRACコード「11」の剤はいずれも薬害に注意する。特に立茎始期の散布にて黒腐病(ササ)混用で着茎への薬害リスクが高くなるため注意する。また、高温時の散布は避ける。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		センコル水和剤	萌芽前〜萌芽始期又は、収穫打ち切り後(雑草発生前〜4、5葉期)	1回	100~150g(100g)	一年生雑草	水和剤	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	メトリブジン	萌芽始期に推奨
		ロックス	萌芽前(雑草発生前〜発生始期)	1回	2回以内(全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉土壌散布は1回以内)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニユロン	萌芽前、ハウス設置後の小トンネル設置前に散布
			萌芽始期但し、収穫前日まで(雑草発生前〜発生始期)	1回	150~200g(100~150g)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布		
			生育期但し、収穫前日まで(雑草生育期)	1回	150~200g(100g)	一年生広葉雑草	水和剤	雑草茎葉土壌散布(畦間・株間処理)		
		クローロIPC乳剤	苗床播種直後 定植畑培土後雑草発生前、但し収穫30日前まで	1回	200~300ml(70~100g) 250~300ml(70~100g)	一年生雑草	乳剤	苗床 全面土壌散布 定植畑 全面土壌散布	IPC	気温20度以下の時期に強い殺菌力を発揮する。スズメノカタビラ、ハコベ、マメ などに効果あり
	クレマート乳剤	萌芽前(雑草発生前)	1回	200~400ml(100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス		
雑草除草剤 (非選別性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期但し収穫前日まで	1回	150~200ml(100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	イネ科雑草のみに効果
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期但し収穫前日まで		200ml(100g)					
		ラウンドアップマックスロード	耕起前まで(雑草生育期)	1回	200~500ml ・通常散布 50~100g・少量散布 5~50g	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	グリホサートを含む農薬の使用回数に注意
			収穫前日まで(雑草生育期、畦間処理)		200~500ml ・通常散布 50~100g・少量散布 25~50g					
			収穫前日まで(雑草生育期、畦間処理)		1,500~2,000ml ・通常散布50~100g・少量散布 25~50g					
		タッチダウンIQ	萌芽前または収穫打ち切り後(雑草生育期)	3回以内	500~1,000ml(25~100g)	一年生広葉雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	グリホサートを含む農薬の使用回数に注意
			耕起7日以前(雑草生育期)		250~500ml(25~50g)					
			畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで 萌芽前または収穫打ち切り後(雑草生育期)		1,500~2,000ml(25~50g) 1,000ml(25~100g)					
		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期萌芽前又は畦間処理)	農業総使用回数、合わせて2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
			収穫打ち切り後(雑草生育期)		300~500ml(100~150g)					
	ザクサ液剤	萌芽前(雑草生育期)	農業総使用回数、合わせて2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意	
		収穫前日まで(雑草生育期畦間処理)		500ml(100~150g)						
	毒	ブリグロックスL	播種前又は播付前	3回以内	600~1,000ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、パラコート	
			萌芽前:雑草生育期(草丈20cm以下)							
			畦間処理:雑草生育期但し、収穫前日まで							

アスパラガス登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	8B	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3mL/1穴 <床土・堆肥>3~5mL/1穴	—	立枯病、紋羽病、センチュウ類、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、ケラ、一年生雑草	—	—	燻蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤	劇	1B	エルサン乳剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ジウシホシクビナガハムシ	速	短	乳剤	散布	PAP	
		3A	ガードベイトA	収穫前日まで	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	春先のネキリムシ対策
		3A	アーデント水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(150~500g)	100g	アブラムシ類、カメムシ類、オオタバコガ、ハダニ類	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	
		4A	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	浸透移行性が高い
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	シウジホシクビナガハムシ、アブラムシ類、ネキリムシ類、コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	浸透移行性が高い
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ジウシホシクビナガハムシ、カメムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	浸透移行性が高い
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	食毒・接触毒で速効的な効果
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~500g) 2,500倍(100~500g)	40~20ml 40ml	アザミウマ類、ハスモントウ、オオタバコガ、ジウシホシクビナガハムシ コナジラミ類	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	アザミウマ・鱗翅目幼虫に食毒・接触毒で速効的な効果。(運用に注意する)
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハスモントウ、ヨウムシ、ハダニ類	速	短	乳剤	散布	エマメクタン安息香酸塩	速効性。食毒・経皮毒として作用
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	成虫・幼虫・卵に効果○ 産卵抑制効果もあり。
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~700g)	25g	コナジラミ類、ネギアザミウマ、カスミカメシ類	速	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	経皮・食毒で作用
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	ハダニ類、ジウシホシクビナガハムシ、ヨウムシ、オオタバコガ、ハスモントウ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	植物体への浸透移行性が無いいためかケムシに注意
	劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	アザミウマ類、ナメクジ類、タバココナジラミ	速	中	顆粒水和剤	散布	テオシクラム	摂食・食毒効果
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍(100~500g)	25ml	アザミウマ類、オオタバコガ、ハスモントウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	残効が長いため予防防除に向く
	劇	21A FRAC39	ハチハチフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~800g)	100ml	ネギアザミウマ、アブラムシ類、コナジラミ類、ジウシホシクビナガハムシ、ツマクローアオカシカメ	中	中	フロアブル	散布	トルフェンピラド	植物体への浸透移行性が無いいためかケムシに注意
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロテトラマト	浸透移行性が高い、残効が長いいため予防剤として使用(養蜂注意)
		20D	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハダニ類			フロアブル	散布	ビフェナゼート	成虫・幼虫への効果○ ボルドー液との混用はさける
		25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	シフルメトフィン	成虫・卵への効果○ 幼虫への効果○
		25B	ダニコングフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~700g)	50ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	ビフルブミド	成虫・幼虫・卵に効果○ 残効が長い
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	25ml 50ml	ハスモントウ アザミウマ類	速 速	長 長	液剤	散布	シアントラニリプロール	展着剤は加用しない。銅剤との混用に注意。鱗翅目・アザミウマに速効性・残効性あり。
		28	プレバソフロアブルS	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモントウ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリプロール	鱗翅目幼虫に速効性、残効性あり
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	オオタバコガ、ヨウムシ ハスモントウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	鱗翅目幼虫に速効性、残効性あり
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類、ネギアザミウマ	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	吸汁活動は速効的に阻止し餓死させるため見かけ上速効的
	劇	34	ファインセーブフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~800g)	50ml	アザミウマ類、タバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)	速	中	フロアブル	散布	フロメキン	アザミウマ類に高い速効性
		UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハスモントウ、オオタバコガ、ヨウムシ、ネギアザミウマ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	経口・経皮に作用 鱗翅目の中老齢幼虫に効果
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~500g)	50ml	アザミウマ類、ハダニ類、ジウシホシクビナガハムシ、ハスモントウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	対象害虫に速効的に作用する

- ◆「ベルクート水和剤」と「コロマイト乳剤」の組合わせは薬害を生じる場合があります。
- ◆「ハチハチフロアブル」と「ストロビーフロアブル」の組合わせは薬害を生じる場合があります。
- ◆「マイトコーネフロアブル」はボルドー液との混用および14日以内の近接散布は避けてください。
- ◆「ランネット46DF」は製造終了の為、R7年度中に使いきって下さい。

白ネギ登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8B	クロールピクリン	—	1回(圃場)	<床土+堆肥>1穴当り3~5ml <圃場>1穴当り2~3m	萎凋病、白絹病、苗立枯病、センチュウ類 ケラ、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000㎡当たりの薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤	■	1	ベンレート水和剤	定植直前	1回	500倍	—	小菌核腐敗病、萎凋病	○	○	水和剤	30分間苗根部浸漬	ペノミル		
				定植前		100~200倍	—	小菌核腐敗病				5分間苗根部浸漬			
				収穫30日前まで	1回	600倍 ちも成型育苗用11箱またはペー ンネット用(30×60cm、使用土壌約 5L)当り500ml	—	小菌核腐敗病				灌注			
					1,000~2,000倍(100~300%)	100~50g	—	小菌核腐敗病				散布			
	■	P2	オリゼート粒剤	土寄せ時 但し収穫30日前まで	2回以内	6kg	—	軟腐病	○	×	粒剤	株元散布	プロベナゾール		
				生育期 但し収穫14日前まで	3回以内	6kg	—	黒腐菌核病	○	○	粒剤	株元散布	シメコナゾール		
	土寄せ時 但し収穫14日前まで	1回	4~6kg	—	小菌核腐敗病										
	は種時		—	白絹病、小菌核病	土壌表面散布										
		—	—	—	黒穂病										
	■	3、M3	テーク水和剤	収穫14日前まで	3回以内	600倍(100~300%)	167g	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病	○	○	水和剤	散布	シメコナゾール、マンゼブ		
				3	サブロール乳剤	収穫前日まで	5回以内	800~1,000倍(100~300%)	125~100ml	さび病	○	○	乳剤	散布	トリホリン
	■	M5	ダコニール1000	出芽揃い後 (出芽3日後から10日後まで)	1回	農薬総使用 回数、合 せて4回以内 (土壌灌注 は1回以内、 散布及び無 人航空機散 布は合計3 回以内)	500倍(0.5L/1㎡)	—	苗立枯病(リゾトニア菌)	○	×	フロアブル	土壌灌注	TPN	
				収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300%)	100ml	べと病、黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、さび病	○	×	散布				
	■	40、M5	フロボーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	1,000倍(100~300%)	100g	べと病、葉枯病	○	○	顆粒水和剤	散布	ベンチアザール、フイソプロピル、TPN	
				40、45	ザンプロDMフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	1,500~2,000倍(100~300%)	67~50ml	べと病	○	○	フロアブル	散布	アメクトラジン、ジメトモルフ
	■	40、M1	フェスティバルの水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	1,000倍(100~300%)	100g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ、塩基性塩化銅	
				M1	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	500倍(100~300%)	200g	さび病、黒斑病、べと病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅
	■	24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	2回以内	農薬総使用 回数、合 せて2回以内	1,000倍(100~300%)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
				31、24	カセット水和剤	収穫14日前まで	2回以内	農薬総使用 回数、合 せて2回以内	1,000倍(100~300%)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布
	■	31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	2,000倍(100~300%)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシソニック酸	
19				ポリオキシナル水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300%)	100g	黒斑病、ネギアザミウマ	○	○	水和剤	散布	ポリオキシナル	
■	2	ロブラール水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	500~1,000倍(1L/1㎡)	—	白絹病	○	△	水和剤	株元灌注	イブロジオン		
						500倍(0.5~1L/1㎡)	—	小菌核腐敗病							
						1,000~1,500倍(100~300%)	100~67g	黒斑病、ボトリチス葉枯病、小菌核腐敗病				散布			
■	4、11	ユニフォーム粒剤	土寄せ時 但し収穫45日前まで	1回	9kg	—	さび病、白絹病、べと病、黒腐菌核病	○	○	粒剤	株元土壌混和	メタラキシルM、アゾキシストロビン			
			11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300%)	50ml	さび病、黒斑病、黄斑病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
■	11	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍(100~300%)	50ml	さび病、黒斑病、黄斑病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン			
			11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300%)	50ml	べと病、黄斑病、さび病、黒斑病、葉枯病、 リゾトニア葉鞘腐敗病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	
■	21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍(150~300%)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド			
			P7	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	3回以内	800倍(100~300%)	125g	疫病、べと病	○	○	水和剤	散布	ホセセル	
■	7	アフエットフロアブル	生育期 但し収穫14日前まで	2回以内	農薬総使用 回数、合 せて2回以内	1,000~2,000倍(1L/㎡)	—	白絹病、黒腐菌核病	○	×	フロアブル	株元灌注	ベンチオピラド		
			収穫前日まで			2,000倍(100~300%)	50ml	黒斑病、さび病、小菌核腐敗病、白絹病、葉枯病、小菌核病				散布			
■	7	パレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	2,000~4,000倍(100~300%)	50~25ml	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、小菌核病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド		
						2,000倍(100~300%)	50ml	黒腐菌核病、さび病、白絹病							
■	7	カナメフロアブル	収穫前日まで	4回以内	農薬総使用 回数、合 せて4回以内	4,000~8,000倍(100~300%)	25~12ml	さび病	○	○	フロアブル	散布	インビフルキサム		
						4,000倍(100~300%)	25ml	黒斑病、葉枯病、白絹病							
						4,000~8,000倍(100~300%)	25~12ml	白絹病				株元散布			
						4,000倍(100~300%)	25ml	黒腐菌核病							
■	12	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	農薬総使用 回数、合 せて3回以内	1,000倍(100~300%)	100ml	黒腐菌核病、白絹病、小菌核腐敗病	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル		

白ネギ登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	JRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調整時 の残量	適用病害虫	速速性	効果 持続性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤	4A	ベストガード粒剤	は種時 育苗期後半～定植当日 定植時 収穫前日まで	1回	5g/培土L	—	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	—	—	—	粒剤	育苗培土混和	ニテンピラム		
					6kg	—	ネギアザミウマ									
					セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3～4)当り50g	—	ネギアザミウマ									
				3回以内	6kg	—	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、クロバネキノコバエ類									
					ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ											
	4A	スタークル顆粒水溶剤	定植前日～定植時 生育期 但し、収穫14日前まで 収穫3日前まで	1回	50倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4)当り0.5g	—	アザミウマ類、ハモグリバエ類、シロイチモジトウ、タネバエ、ネギコガ	○	中	長	顆粒水溶剤	灌注	ジノテフラン			
					400倍(0.4L/m ²)	—	ハモグリバエ類、トビロヒョウタンゾウムシ、アザミウマ類									
					1,000倍(1L/m ²)	—	クロバネキノコバエ類、アザミウマ類									
					2,000倍(100～300g)	50g	アザミウマ類									
	4A	ダントツ粒剤	は種時 播付時 収穫3日前まで	1回 4回以内	農薬総使用回数合わせて、4回以内、但し、定植時までの処理は1回以内	6kg	—	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	○	—	—	粒剤	作条処理土壌混和	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意	
						3～6kg	—	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、タネバエ								
						6kg	—	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ								
						ネダニ類										
	4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	4回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	○	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意		
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド		
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム	同成分剤の使用回数に注意		
	28、4A	ミネクトデュオ粒剤	育苗期後半 定植時 株元散布 収穫3日前まで	1回 3回以内	農薬総使用回数合わせて、定植まで1回以内、定植後3回以内	農薬総使用回数合わせて、定植まで1回以内、定植後3回以内	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4)当り1.40g	—	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ、シロイチモジトウ	—	中	長	粒剤	散布	シアントラニリプロール、チアメトキサム	同成分剤の使用回数に注意
							アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ									
							アザミウマ類、ネキリムシ類、ハモグリバエ類									
							アザミウマ類、シロイチモジトウ、ハモグリバエ類									
28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	シロイチモジトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネギコガ	○	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	剤剤との混用注意、同成分剤の使用回数に注意			
28	ブレバソフロアブル5	育苗期後半～定植当日	1回	100倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4)当り0.5g	—	ハモグリバエ類	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール				
		収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類										
28	ヨーバルフロアブル	定植当日	1回	200倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4)当り0.5L	—	シロイチモジトウ	—	速	長	フロアブル	灌注	テトラニリプロール				
		育苗期後半～定植当日	1回	—	アザミウマ類、ハモグリバエ類											
		収穫3日前まで	3回以内	2,500～5,000倍(100～300g)	40～20ml	シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類										
劇	3A	フォース粒剤	定植時	1回	2回以内 但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は1回以内	9kg	—	ネダニ類、クロバネキノコバエ類、ネキリムシ類(4～9kg)	—	—	—	粒剤	作条土壌混和	フェルトリン		
			収穫30日前まで	1回	9kg	—	ネダニ類、クロバネキノコバエ類									
3A	ガードベイトA	生育初期	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	○	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン				
劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	シロイチモジトウ	○	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン			
					2,000倍(100～300g)	50ml	アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ、ネギハモグリバエ									
1B	ダイアジノン粒剤G	は種時又は定植時	2回以内	4～6kg	—	コガネムシ類幼虫	○	—	—	粒剤	全面土壌混和又は作条土壌混和	ダイアジノン	同成分剤の使用回数に注意			
劇	1B	スミチオン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	アブラムシ類	—	速	短	乳剤	散布	MEP			
					1,000倍(100～300g)	100ml	ネギコガ									
					700～1,000倍(100～300g)	143～100ml	アザミウマ類									
劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍(100～300g)	67g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、ネギコガ	—	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム			

↓ 「殺虫剤」次ページに続きあり

白ネギ登録農薬適用表(3) (殺虫・除草剤)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	JRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の概量	適用病害虫	選速性	効果発現性	熟効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		15	カスケード乳剤	収穫14日前まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25ml	シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギアザミウマ、クロハネキノコバエ類	—	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		6、15	アフファムエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67g	シロイチモジトウ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェスロン	
	劇	6	アグリメック	収穫3日前まで	3回以内	500~1,000倍(100~300g)	200~100ml	アザミウマ類、ネギハモグリハエ	—	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	シロイチモジトウ、ネギコガ	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン	
		18	マラソン乳剤	収穫7日前まで	6回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	シロイチモジトウ、ヒョウタンノムシ類、ネギコガ、ネギハモグリハエ	—	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
		30	グレーシア乳剤	播付時 収穫21日前まで 収穫7日前まで	1回 1回 2回以内	2,000倍 2,000倍(12/㎡) 2,000~3,000倍(100~300g)	 50~33ml	ネダニ類 ネダニ類 アザミウマ類、ハモグリハエ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、クロハネキノコバエ類	 ○	 速	 長	乳剤	30分間苗浸漬 株元灌注 散布	 フルキサメタミド	
	劇	9B	コルト顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	ネギアザミウマ、ネギハモグリハエ、アブラムシ類	—	速	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
	劇	21A、FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アザミウマ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、アブラムシ類、クロハネキノコバエ類、ネギハモグリハエ、きび病、べと病	—	中	中	乳剤	散布	トルフェンビラド	
		UN	ブレオフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	シロイチモジトウ、ネギアザミウマ	—	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20g	アザミウマ類	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		5	ディアナSO	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	アザミウマ類、シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギコガ	○	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	ネギアザミウマ	○	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
	劇	34	ファインセーフフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	アザミウマ類	—	速	長	フロアブル	散布	フロトキシン	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		クレマート乳剤	定植活着後(雑草発生前)但し定植10日後まで	1回	200~400ml(100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		ロロックス	定植後 但し、収穫30日前まで (雑草発生前) 定植30日後以降中耕培土後 但し、 収穫30日前まで(雑草発生摘期)	1回	100~150g(70~150g) 75~150g(100g)	一年生雑草 一年生広葉雑草	水和剤	畦間土壌散布 雑草莖葉散布 又は全面散布	リニユロン	
		ゴーゴーサン細粒剤F	定植後(雑草発生前)但し、定植10日後まで	1回	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ベンディメタリン	
		グラメックス水和剤	定植活着後(雑草発生初期)但し収穫30日前まで 定植活着後(雑草発生前)但し、収穫30日前まで	1回	50g~150g(100g) 100g~150g(100g)	一年生雑草 一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	シアナジン	
雑草摘草剤(選択剤)		セレクト乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	50~75ml(100g)	一年生イネ科雑草	乳剤	雑草莖葉散布 又は全面散布	クレトジム	
		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで 雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 但し収穫30日前まで	1回	150~200ml(100g) 200ml(100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草莖葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
雑草摘草剤(非選択剤)		ラウンドアップマックスロード	耕起又は定植5日前まで(雑草生育期) 収穫30日前まで (雑草生育期:定植後畦間処理)	3回以内	200~500ml(通常散布50~100g、少量散布5~50g) 200~500ml(通常散布50~100g、少量散布25~50g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	グリホサートカリウム塩	グリホサートを含む農薬の使用回数に注意
		タッチダウンQ	耕起又は定植7日以前 (雑草生育期) 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫7日前まで	3回以内	250~500ml(25~50g) 250~500ml(25~100g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	グリホサートカリウム塩	グリホサートを含む農薬の使用回数に注意
		クサクリーン液剤	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期) 定植後畦間処理 但し、収穫30日前まで(雑草生育期)	3回以内	250~500ml(通常散布50~100g、 少量散布25~50g、5~15g) 250~500ml(通常散布50~100g、少量散布25~50g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	グリホサートイソプロピルアミン塩	グリホサートを含む農薬の使用回数に注意
		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	グリホシネート	グリホシネートおよびグリホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクザ液剤	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	2回以内	300~500ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	グリホシネートPナトリウム塩	グリホシネートおよびグリホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
	毒		ブリグロックスL	畦間処理:雑草生育期 但し、収穫3日前まで 播種前又は播付前	3回以内	600~1,000ml(100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草莖葉散布	ジクワット、パラコート

◆「グラメックス水和剤」は次の条件下で農薬の恐れがあるので注意する。①定植1ヶ月未満の活着が不十分な状態。②草丈が20cm以下の場合。③寒期以降気温の高まる時期(20℃を超える)④砂土または砂壌土。

ブロッコリー登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 重量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	FRAC B	クロールピクリン	—	1回	〈圃場〉2~3mL/1穴 〈床土・堆肥〉3~5mL/1穴	—	クラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、萎黄病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 FRAC B	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	20~30kg 30kg	—	根こぶ病、一年生雑草 テナシストセンチュウ	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 重量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		36	ネビリュウ	は種又は定植前	1回	20~30kg 20kg	—	根こぶ病	○	×	粉粒剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルスルファミド	
		29	フロンサイド粉剤	は種又は定植前	1回	30~40kg 15~20kg	—	根こぶ病	—	—	粉剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルアジナム	同成分剤の使用回数に注意
		29	フロンサイドSC	定植前	1回	500ml (100~200ℓ)	—	根こぶ病	—	—	液剤	全面散布土壌混和	フルアジナム	同成分剤の使用回数に注意
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	500倍セル成育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)当り2ℓ	—	根こぶ病	○	×	フロアブル	灌注	シアゾファミド	
	収穫14日前まで			1回	2,000倍 (250ml/株)	—	根こぶ病	株元灌注						
	収穫3日前まで			3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	—	べと病				散布		
		21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	30kg 20kg	—	根こぶ病	○	—	粉剤	全面土壌混和 作業土壌混和	アミスルプロム	同成分剤の使用回数に注意
		21	オラクル顆粒水和剤	定植前	2回以内	300g (100ℓ)	—	根こぶ病	○	—	顆粒水和剤	全面散布後土壌混和 灌注	アミスルプロム	同成分剤の使用回数に注意
		P2	オリゼメート粒剤	定植時	1回	6~9kg	—	黒腐病	○	×	粒剤	全面土壌混和	プロベナゾール	
		4、11	ユニフォーム粒剤	定植前	1回	4回以内(粒剤は1回以内) 9~18kg	—	べと病	○	×	粒剤	全面土壌混和	アゾキシストロビン メタラキシルM	同成分剤の使用回数に注意
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	べと病、黒すす病、菌核病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	同成分剤の使用回数に注意
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	軟腐病、黒斑細菌病、花蕾腐敗病	○	○	水和剤	散布	オキシニリク酸	
		41	マイコシールド	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50g	花蕾腐敗病	○	○	水和剤	散布	オキシテトラサイクリン	
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	菌核病、黒すす病、根朽病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		7	ハレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300ℓ)	50~25ml	菌核病、黒すす病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	
		7、11	シグナムWDG	収穫7日前まで	2回以内	1,500~2,000倍 (100~300ℓ) 1,500倍 (100~300ℓ)	67~50g 67g	べと病 菌核病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラクロストロビン、 ボスカリド	薬剤調整時、薬剤は少量ずつ入れて調整
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	3,000倍 (100~300ℓ)	33g	菌核病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリケンカルブ	
		11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	菌核病、べと病、黒すす病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロビン	
		11、27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍 (100~300ℓ)	40ml	べと病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	シモキサニル、 ファモキサドン	
		M1	キन्दー水和剤40	収穫14日前まで	3回以内	800倍 (100~300ℓ)	125g	黒腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	有機銅	
	24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	黒腐病	○	○	水和剤	散布	カスガイマイシン、 塩基性塩化銅		
	M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍 (100~300ℓ)	200g	黒腐病、べと病	○	×	水和剤	散布	ニルカールスルホン酸銅		
	M1	コサイド3000	—	—	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	花蕾腐敗病	○	×	ドライ フロアブル	散布	硫酸化第二銅		
	M1	クプロシールド	—	—	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50ml	黒斑細菌病、花蕾腐敗病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅		
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50g	花蕾腐敗病、軟腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	シュードモナスロデシア		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用病害虫・雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		アグロマックス水和剤	定植後雑草発生前 但し、定植14日後まで	200~300g (100ℓ)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
		フィールドスターP乳剤	定植後(雑草発生前) 但し収穫30日前まで	50~75ml(100ℓ)	1回	一年生雑草(アカザ科、アブラナ科、タデ科を除く)	乳剤	全面土壌散布	ジメチナミドP	高温時、薬害注意
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し、収穫7日前まで	150~200ml (100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150ℓ)	農薬総使用回数、 合わせて2回 以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよび グルホシネートHを含む 農薬の使用回数に 注意
		ザクサ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150ℓ)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよび グルホシネートHを含む 農薬の使用回数に 注意
毒		ブリグロックスL	は種前又は絶対前 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫3日前まで	600~1,000ml (100~150ℓ)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

ブロッコリー登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	薬剤IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g農薬時 濃度	適用病害虫・雑草	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤	劇 3A	フォース粒剤	定植時	1回	4kg	—	ネキトムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	テフルトリン		
		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキトムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン	
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍 (100～300g) 2,000倍 (100～300g)	50～25ml 50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ アザミウマ類、アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	シアントラニプロロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現 同成分剤の使用回数に注意
		28	ブリロン粒剤 オメガ	育苗期後半～定植当日 育苗期後半～定植時	1回	セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌1.5～4L)当り 50g 1g/株	— —	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類 コナガ、アオムシ	速	長	粒剤	散布 株元散布	シアントラニプロロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現 同成分剤の使用回数に注意
		28、4A	ミネクトデュオ粒剤	播種覆土後～育苗期後半 定植時	1回	セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L) あたり40g 1g/株	— —	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類、ハイマダラメイガ	速	長	粒剤	散布 株元散布	シアントラニプロロール、 チアマトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現 同成分剤の使用回数に注意
		28、4A	ジュリポフロアブル	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約 1.5～4L)当り0.5g 4,000倍 (100～300g)	— 25ml	アブラムシ類、ネキアザミウマ、コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ハイマダラメイガ アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニプロロール、 チアマトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現 同成分剤の使用回数に注意
		28	プレバソフロアブル5	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×80cm、使用土壌約 1.5～4L)当り0.5g 2,000倍 (100～300g)	— 50ml	アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ、ハイマダラメイガ、オオハコガ	速	長	フロアブル	灌注 散布	クロラントラニプロロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現 同成分剤の使用回数に注意
		28	ヨーバルフロアブル	育苗期後半～定植当日 収穫前日まで	1回 3回以内	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約 1.5～4L)当り0.5g 2,500～5,000倍 (100～300g) 2,500倍	— 40～20ml 40ml	コナガ、アオムシ、ハイマダラメイガ、ハスモンヨウ、 ネキトムシ類、アブラムシ類 コナガ、アオムシ、ハイマダラメイガ、ハスモンヨウ、 ヨウムシ、ウバハシ類、アブラムシ類、シロイチモジヨウ アザミウマ類	速	長	フロアブル	灌注 散布	テトラニプロロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍 (100～300g)	50～25g	コナガ、ハスモンヨウ、ヨウムシ、ハイマダラメイガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		劇 4A	モスビラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍 (100～300g)	50g	アオムシ、コナガ、アブラムシ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		4A	スタークル顆粒水溶剤	定植時 収穫3日前まで	1回 2回以内	3回以内(定植時 まで1回以内、散布は 2回以内) 100倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約 1.5～4L)当り0.5g 2,000～3,000倍 (100～300g)	— 50～33g	アブラムシ類、コナガ アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	灌注 散布	ジノテフラン	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000～4,000倍 (100～300g) 2,000倍 (100～300g)	50～25g 50g	アブラムシ類 アオムシ、コナガ	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍 (100～300g)	33g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍 (100～300g)	20g	コナガ、アオムシ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍 (100～300g)	40～20ml	オオハコガ、コナガ、ハイマダラメイガ、ヨウムシ、ハスモンヨウ、アオムシ、 ウバハシ類、アザミウマ類、シロイチモジヨウ	速	中	フロアブル	散布	スピネトラム	
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000～1,500倍 (100～300g) 1,000倍 (100～300g)	100～67g 100g	アオムシ、コナガ、ハスモンヨウ、ハイマダラメイガ シロイチモジヨウ	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクチン安息香酸塩、 ルフェスロン	
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	コナガ、ハスモンヨウ、アオムシ、シロイチモジヨウ	速	短	乳剤	散布	レビメクチン	
		UN	プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍 (100～300g)	100ml	コナガ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	
		劇 14	バダナSG水溶剤	収穫7日前まで	4回以内	1,500倍 (100～300g)	67g	コナガ	遅	長	水溶剤	散布	カルタップ	
		劇 14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍 (100～300g)	67g	コナガ、アブラムシ類	速	長	顆粒水和剤	散布	チオシクラム	
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	2回以内	4,000倍 (100～300g)	25ml	ハスモンヨウ、コナガ、アオムシ、アザミウマ類、ヨウムシ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		劇 21、 FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
		30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000～3,000倍 (100～300g)	50～33ml	コナガ、アオムシ、ヨウムシ、ウバハシ類、アザミウマ類、シロイチモジヨウ(2,000 倍)、ハイマダラメイガ、オオハコガ、ハスモンヨウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		劇 13	コテツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100～300g)	50ml	コナガ、アオムシ、ヨウムシ、ハスモンヨウ、シロイチモジヨウ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェニジル	
		18	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	ヨウムシ	遅	長	フロアブル	散布	クロマフェニジド	
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍 (100～300g)	25g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000～2,000倍 (100～300g) 1,000倍 (100～300g)	100～50ml 100ml	ヨウムシ、ハスモンヨウ コナガ	中	中	フロアブル	散布	メタフルミゾン	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍 (100～300g)	50～33g	アブラムシ類	遅	長	ドライフロアブル	散布	フロニカミド	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100～300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフル	
		9D	ゼフィーナDC	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍 (100～300g)	50～25ml	アブラムシ類	中	長	フロアブル	散布	アフィドピロベン	農着剤不要
	30	プロフレアSC	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍 (100～300g)	50～25ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨウ、ヨウムシ、オオハコガ、ウバハシ類、 ハイマダラメイガ、シロイチモジヨウ	速	長	フロアブル	散布	プロフラニリド		

◆削除農薬(令和7年度中に使用下さい):「ガードナーフロアブル」、「ランネット45DF」

カリフラワー登録農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	-	1回	<圃場>2~3ml/1穴 <床土・堆肥>3~5ml/1穴	-	ケラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、一年生雑草、萎黄病	-	-	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	30kg	-	根こぶ病(20~30kg)、一年生雑草(20~30kg)、テンサイシストセンチュウ	-	-	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダソメット	

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率(10a当り使用量)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		29	フロンスайд粉剤	は種時又は定植前	1回	15~20kg 30~40kg	-	根こぶ病	-	-	粉剤	作条土壌混和 全面土壌混和	フルアジナム	同成分剤の使用回数に注意
		29	フロンスайдSC	定植前	1回	500ml (100~200ℓ)	-	根こぶ病	-	-	SC707Aフル	全面散布土壌混和	フルアジナム	同成分剤の使用回数に注意
		36	ネビリュウ	定植前	1回	20kg 20~30kg	-	根こぶ病	○	×	粉粒剤	作条土壌混和 全面土壌混和	フルスルファミド	
		21	オラクル粉剤	定植前	2回以内	30kg 20kg	-	根こぶ病	○	-	粉剤	全面土壌混和 作条土壌混和	アミスルプロム	同成分剤の使用回数に注意
		21	オラクル顆粒水和剤	定植前	2回以内	300g (100ℓ)	-	根こぶ病	○	-	顆粒水和剤	全面散布後土壌混和 灌注	アミスルプロム	同成分剤の使用回数に注意
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日 収穫14日前まで 収穫3日前まで	1回 4回以内	500倍セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)当り2ℓ 2,000倍 (250ml/株) 2,000倍 (100~300ℓ)	- 50ml	根こぶ病 べと病	○	△	フロアブル	灌注 株元灌注 散布	シアゾファミド	
		P2	オリゼート粒剤	定植時	1回	6~9kg	-	軟腐病	○	×	粒剤	全面土壌混和	プロベナゾール	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシリニック酸	
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	菌核病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	
		7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	菌核病、根朽病、黒すす病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍 (100~300ℓ)	200g	黒腐病	○	×	水和剤	散布	ニルフェールスルホン酸銅	
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	3,000倍 (100~300ℓ)	33g	菌核病、黒すす病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期(収穫7日前まで))	1回	150~200ml (100~150ℓ)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
雑草除草剤 (非選択性)	毒	ブリグロックスL	播種又は植付前 雑草生育期: 畦間処理 (収穫30日前まで)	3回以内	600~1,000ml (100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	

カリフラワー登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン		
		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時	2回以内	生育期の 処理は1 回	4~6kg	—	ネキリムシ類、ケラ	—	—	粒剤	作付前: 全面土壌混和又は作業土壌混和 作物生育中: 作業処理して軽く覆土 土壌表面散布	ダイアジノン	
			収穫30日前まで			4~6kg	—	コガネムシ類幼虫							
			定植時	1回		6kg	—	ネキリムシ類							
		劇	1B	エルサン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50ml	アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ、キジノミハムシ	速	短	乳剤	散布	PAP	
						1,000倍 (100~300%)	100ml	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、アザミウマ類、カブラハチ幼虫							
						1,000~1,500倍 (100~300%)	100~67ml	コナガ							
			29	ウララDF	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300%)	50g	アブラムシ類	遅	長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	
			4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍 (100~300%)	50~33g	アブラムシ類	中	長	顆粒 水溶剤	散布	チアメトキサム	
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300%)	50g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
			30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍 (100~300%)	50~33ml	アオムシ、コナガ、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ウラハ類、 ハイマダラノメイガ、オオタバコガ、ヨトウムシ、 シロイモシヨトウ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
			30	プロフレアSC	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300%)	50~25ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ウラハ類、 ハイマダラノメイガ、オオタバコガ、シロイモシヨトウ	速	長	フロアブル	散布	プロフランニド	
		劇	13	コテツフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300%)	50ml	コナガ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル	
			5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍 (100~300%)	20g	コナガ	速	短	顆粒 水和剤	散布	スピノサド	
			5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍 (100~300%)	40~20ml	コナガ、アザミウマ類、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、 ハイマダラノメイガ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
			6	アフーム乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50ml	コナガ、アオムシ、アザミウマ類、オオタバコガ	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩	
			6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300%)	100~50ml	コナガ、ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	レビメクチン	
			9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍 (100~300%)	25g	アブラムシ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ピリフルキナゾン	
		28	プレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日	4回以内(但し、灌注は 1回以内、散布は3回以 内)	100倍 セル成型育苗トレイ11箱(約30× 60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.52	—	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリブロール		
			収穫前日まで	2,000倍 (100~300%)		50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ	散布							
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~300%)	50~25g	コナガ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ	速	長	顆粒 水和剤	散布	フルベンジアミド		

◆削除農薬(令和7年度中に使用下さい):「ランネット45DF」、「プリンスフロアブル」

キャベツ登録農薬適用表(1) (殺菌)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		36	ネビリュウ	定植前	2回以内	20kg	—	根こぶ病	○	—	粉粒剤	作業土壌混和	フルスルファミド		
			は種又は定植前	20~30kg		—	全面土壌混和								
		29	フロンスайдSC	は種又は定植前 定植前	2回以内 (但し苗床では1回以内、本圃では1回以内)	500ml (100~200g)	—	根こぶ病、菌核病、苗立枯病(リゾクニア菌)	○	—	フロアブル	全面散布土壌混和	フルアジナム	ブーム等で全面処理可能	
					500ml (100~200g)	—	根こぶ病、菌核病、苗立枯病(リゾクニア菌)(株腐病150~200g)	全面土壌散布							
		21	オラクル顆粒水和剤	定植前	1回	200~500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30~60cm、使用土壌約3~4)当り 500ml	—	根こぶ病	○	—	顆粒水和剤	灌注	アミスルプロム		
		21	オラクル粉剤	播種前(苗床)	2回以内	20kg	—	根こぶ病	○	—	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム		
	定植前			30kg		—	作業土壌混和								
				20kg		—									
		21	ランマンフロアブル	定植前日~当日	1回	6回以内(育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内)	500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌2.5~7g)当り2g	—	根こぶ病	○	△	フロアブル	灌注	シアゾファミド	
			収穫14日前まで	1回	2,000倍 (250ml/株)		—	株元灌注							
			収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)		50ml	べと病					散布		
		M5	ダコニール1000	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病、根朽病	○	×	フロアブル	散布	TPN		
		M1	キノードフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	800~1,000倍 (100~300g)	125~100ml	黒腐病	○	×	フロアブル	散布	有機銅		
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農薬総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	オキシソニック酸	
		31、24	カセット水和剤	収穫7日前まで	3回以内		農薬総使用回数、合わせて4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	黒斑細菌病、黒腐病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシソニック酸、カスガマイシン
		24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)		100g	黒腐病、軟腐病、黒斑細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン・塩基性塩化銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	500倍 (100~300g)	200g	黒腐病、軟腐病、べと病、アブラムシ類	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅		
		U18	バリダシン液剤5	収穫7日前まで	5回以内	800倍 (100~300g)	125ml	株腐病、黒腐病、軟腐病	○	○	液剤	散布	バリダマイシン	細菌性病害の初期防除に	
		2	ロブラール水和剤	収穫7日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	菌核病、株腐病	○	△	水和剤	散布	イブロジオン		
		11	アミスター20フロアブル	収穫7日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	株腐病、菌核病、黒斑病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		
	11	メジャーフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	株腐病、菌核病、べと病、ピシウム腐敗病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロピン			
	1	トップジンM水和剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67g	菌核病、(1000倍)根朽病、株腐病(1000~1500倍)	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル			
	7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	菌核病、株腐病、根朽病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド			
	7	バレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25ml	菌核病、株腐病、根朽病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド			
	40	フェスティバル水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ			
	M1	クプロシールド	—	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100ml	黒腐病、黒斑細菌病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	結球期以降葉害注意		
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	軟腐病、黒斑細菌病、黒斑病	○	×	水和剤	散布	シュードモナスロデシア	長雨時有効剤		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		ラッソー乳剤	定植8日後まで	150~200ml (100g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
		フィールドスターP乳剤	定植後雑草発生前 (但し定植後10日後まで)	50~75ml (100g)	1回	一年生雑草(アカザ科、アブラナ科、タデ科を除く)	乳剤	全面土壌散布	ジメテナミドP	
		アグロマックス水和剤	定植直後雑草発生前	200~300g (100g)	1回	一年生雑草(キコ科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロビザミド	
茎葉除草剤(選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(1科雑草3~5葉期) 収穫14日前まで	150~200ml (100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 または全面散布	セトキシジム	
		ポルトフロアブル	雑草生育期(1科雑草3~8葉期) 収穫30日前まで	200ml (100g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	フロアブル	雑草茎葉散布 または全面散布	キザロホップエチル	
茎葉除草剤(非選択性)		バスタ液剤	収穫45日前まで (雑草生育期定植前又は陸間処理)	300~500ml (100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホシネート	

キャベツ登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 重量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考		
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロロピクリン	—	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	<圃場>1穴当り 2~3ml <床土・堆肥>1穴当り 3~5ml	—	萎黄病、根こぶ病、センチュウ類、ハリガネムシ類 ネキリムシ類、ケラ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロロピクリン			
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種又は定植21日前まで	1回	20~30kg	—	根こぶ病、ハネテリウム萎凋病、苗立枯病(リゾネア菌)、株腐病、一年生雑草、ネコセンチュウ、萎黄病	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット			
用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 重量	適用病害虫	浸透性	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	○	速	長	粒剤	株元散布	ペルストリン	雨に当てると効果減少	
	劇	3A	フォース粒剤	定植時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	—	粒剤	全圃土壌混和	テフルトリン		
		3A	トレボン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ	○	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス		
		2B、4A	ミネクトデュオ粒剤	播種後〜育苗期後半	1回	セル成型育苗トレイ1箱40g	—	アブラムシ類、アオムシ、ハイマダラノメイガ、コナガ、アザミウマ類	—	中	長	粒剤	散布	シアントラニリプロール、 チアメトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現	
		2B、4A	ジュリポフロアブル	は種時〜育苗期後半		定植時まで 1回以内、散布3回以内	1,000倍(苗地床1㎡当り2L)	—	アブラムシ類、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ネギアザミウマ、ハスモンヨトウ、コナガ、ネキリムシ類、ヨトウムシ	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール、 チアメトキサム	「28」適用注意コナガ抵抗性発現
		2B、4A	ジュリポフロアブル	育苗期後半〜定植当日			200倍セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm使用土壌約1.5~4g)当り0.5g	—	アブラムシ類、ネギアザミウマ、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ	—	—	—	—	—	—	—
		2B	プレバソフロアブル5	収穫3日前まで	3回以内	4,000倍(100~300L)	25ml	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ、オオタバコガ	—	—	—	—	散布	—	—	
		2B	プレバソフロアブル5	育苗期後半〜定植当日	1回	100倍セル成型トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm使用土壌約1.5~4g)当り0.5g	—	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ハイマダラノメイガ、ネキリムシ類、カブラノハバチ類	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール	「28」適用注意コナガ抵抗性発現	
		2B	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	アオムシ、ウワバ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、オオタバコガ	○	速	長	フロアブル	散布	—	—	
		2B	ヨーバルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍〜5,000倍 (100~300g)	40~20ml	アオムシ、ウワバ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、オオタバコガ、アザミウマ類、アブラムシ類、シロイチモジヨトウ	○	速	中	フロアブル	散布	テトラニリプロール	チョウ目+アブラムシなど	
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	5回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25g	アブラムシ類、アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
			4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	アオムシ、コナガ、キスジミハムシ	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
			4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000 (100~300g)	50ml	アブラムシ類、ネギアザミウマ	○	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロロ	
			9D	セファーナDC	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25ml	アブラムシ類	○	速	長	乳剤	散布	アフィドピロベン	
			1B	マラソン乳剤	収穫前日まで	5回以内	1,000~3,000倍 (100~300g)	100~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
			1B	マラソン乳剤	収穫前日まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	アオムシ、カブラノハバチ	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
		劇	21A、 FRAC 3B	ハチハチ乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	—	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
		劇	14	バダンSG水溶剤	収穫14日前まで	4回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ナメクジ類	—	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	紫外線加減のため効果は1週間
		劇	14	リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ナメクジ類、ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	—	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム	紫外線加減のため効果は1週間
			30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	コナガ、アオムシ、ウワバ類、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ、シロイチモジヨトウ	○	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
		UN	プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	コナガ、アオムシ、オオタバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ウワバ類、ハイマダラノメイガ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	—	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
		6、15	アフームエクスラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67g	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ハイマダラノメイガ、タマナギンウワバ、オオタバコガ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、 ルフェスロン	殺卵効果あり	
		6、15	アフームエクスラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、 ルフェスロン	殺卵効果あり	
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ、オオタバコガ、ウワバ類	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン		
		6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	シロイチモジヨトウ	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン		
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍 (100~300g)	40~20g	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、タマナギンウワバ、シロイチモジヨトウ	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
	劇	34	ファインセーフフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	1000~2000倍	100~50ml	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ	—	速	中	フロアブル	散布	フロメトキン		
		34	ファインセーフフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	1,000倍	100ml	アオムシ	—	速	中	フロアブル	散布	フロメトキン		
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍 (100~300g)	40~20ml	ウワバ類、コナガ、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ、アオムシ、オオタバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハエモグリハエ類	○	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3000~4,000倍 (100~300g)	33~25g	アブラムシ類	—	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍 (100~300g)	33g	ネギアザミウマ	—	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、タマナギンウワバ、アオムシ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	—	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナピル		
		22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	コナガ、アオムシ、キスジミハムシ	—	遅	長	フロアブル	散布	メタフルミゾン		
		22B	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ヨトウムシ、ウワバ類	—	遅	長	フロアブル	散布	メタフルミゾン		
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33g	アブラムシ類	—	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニコミド		

パセリ登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	30kg	—	疫病、苗立枯病(リゾトニア菌)、萎凋病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	
	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	1穴当り2~3ml	—	立枯病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
殺菌剤		M1	キノンドー粒剤	播種前 生育期(収穫90日前まで)	1回 1回	20kg	— —	軟腐病	—	—	粒剤	土壌表面散布(露地栽培)	有機銅	露地栽培登録
		1	ベンレート水和剤	収穫45日前まで	2回以内	1,000倍(3g/1㎡)	100g	立枯病	○	○	水和剤	灌注	ベニル	
		11,4	ユニフォーム粒剤	収穫21日前まで	3回以内	12kg	—	疫病	—	—	粒剤	株元散布	アゾキシストロビン、メタラキシルM	
		11	ストロビフロアブル	収穫14日前まで	1回	3,000倍(100~300g)	33ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキリニコク酸	
		M1	ヨネボン(乳剤)	収穫14日前まで	3回以内	700倍(100~300g)	143ml	うどんこ病、軟腐病、斑点病、アブラムシ類	○	×	乳剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	
		9	フルピカフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	3,000倍(100~300g)	33g	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	メパニピリム	
		3	スコア顆粒水和剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(200~400g)	50g	うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	ジフェノコナゾール	
	7	アフエットフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド		
用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率(10a当り使用量)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4A	アドマイヤー1粒剤	定植時 は種時 収穫14日前まで	1回	0.5g/株 3kg	— —	アザミウマ類 アブラムシ類	—	—	粒剤	植穴土壌混和 播清散布 株元散布	イミダクロプリド	
	劇	4A	アドマイヤーフロアブル	収穫14日前まで	1回	4,000倍(100~300g)	25ml	アブラムシ類	中	長	フロアブル	散布	イミダクロプリド	
		4A	ダントツ水溶剤	収穫14日前まで	1回	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫3日前まで	1回	8,000倍(100~300g)	13g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
		2B, 4A	ジュリボフロアブル	育苗後半~定植当日	1回	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g	—	ハスモンヨトウ	速	長	フロアブル	灌注	クロラントリニプロール、チアトキザム	灌注処理
		28	プレバソフロアブル5	収穫7日前まで	1回	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	速	長	フロアブル	散布	クロラントリニプロール	
	劇	3A	フォース粒剤	播種時又は定植時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	播清、播清又は全面土壌混和	テフルトリン	
		3A	アーデント水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	ネギアザミウマ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン	
		3A	テルスター水和剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100g	アブラムシ類	速	中	水和剤	散布	ジフェントリン	
		3A	ガードベイトA	収穫前日まで	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
		5	スピエース顆粒水和剤	収穫14日前まで	2回以内	2,500倍(100~300g)	40g	ヨトウムシ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド	
		15	カスケード乳剤	収穫7日前まで	1回	4,000倍(100~300g)	25ml	ハスモンヨトウ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
		6	アフーム乳剤	収穫7日前まで	1回	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	エマクテン安息香酸塩	
		6	コロマイト乳剤	収穫3日前まで	1回	2,000倍(100~300g)	50ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	幼虫・成虫・殺卵効果○ セリ科薬業類登録
		18	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ	中	中	フロアブル	散布	クロマフェノジド	
	29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		
用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考				
茎葉除草剤(非選択性)		クレマト乳剤	播種後発芽前(雑草発生前)	200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス					
		バスタ液剤	収穫3日前まで(雑草生育期定植前、又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート					
	毒	ブリグロックスL	播種前又は播付前 雑草生育期但し、収穫7日前まで(畦間処理)	600~1,000ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、バラコート					

ほうれんそう登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用対象病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クローロピクリン	—	1回	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	立枯病、萎凋病、苗木枯病、根腐病 株腐病、ケラ、ハリガネムシ類、センチュウ類 ネキリムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クローロピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種10日前まで	1回	20~30kg 10kg	—	立枯病、萎凋病、株腐病、根腐病 ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草 ホウレンソウケナガコナダニ	—	—	微粒剤	木剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する 木剤の所定量を均一に散布して遠く混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		4, 11	ユニフォーム粒剤	播種前	1回	9kg	—	白斑病、べと病	—	—	粒剤	全面土壌混和	メタラキシルM アゾキシストロビン	
		7	バシタック水和剤75	は種前 は種時~子葉展開時	1回	200倍 (1時間種子浸漬) 1,000倍 (24時間種子浸漬) 750~1,500倍 (3L/m ²)	—	苗木枯病 (リソクトニア菌)	○	○	水和剤	種子浸漬 土壌灌注	メブロニル	
		32	タチガレン液剤	は種前 は種時 は種時	1回	50~100倍(300mL/m ²) 500~1000倍(3L/m ²) 1500~3000倍(9L/m ²)	—	立枯病	○	△	液剤	全面散布後 土壌混和 土壌灌注	ヒドロキシイソキサゾール	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫14日前まで	4回以内	500倍 (100~300g)	200g	べと病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	
		M1	コサイド3000	—	—	1,000倍 (100~300g)	100g	べと病、白斑病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅	高温時の薬害注意
		21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	べと病、白斑病	○	○	水和剤	散布	ホセチル	
		U17	ビシロックフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病、立枯病	○	×	フロアブル	散布	ピカルトラゾクス	
		40	フェスティバル水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ	

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	飛効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	は種前 は種時	1回	6kg	—	ヒメクロユスリカ タネバエ	—	—	粒剤	土壌混和 作業土壌混和 又は土壌表面散布	ダイアジノン	
		1B	スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	MEP	幼苗期の薬害に注意
		1B	マラソン乳剤	収穫14日前まで	4回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	
		3A	ガードベイトA	生育初期	2回以内	3kg	—	ネキリムシ類	速	長	粒剤	株元散布	ベルメリン	
		21A	ダニトロンフロアブル	収穫21日前まで	1回	2,000倍 (150~300g)	50ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	フェンピロキシメート	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶液	収穫14日前まで	2回以内	8,000倍 (100~300g)	12.5g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶液	散布	アセタミプリド	
	劇	4A	アドマイヤーフロアブル	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300g)	25ml	アブラムシ類、アザミウマ類、ウリハムシモドキ	中	長	フロアブル	散布	イミダクロプリド	
	劇	14	バダシSG水溶液	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	ミナミキイロアザミウマ、アシダカグモ、シロオビノメイガ	遅	中	水溶液	散布	カルタップ塩酸塩	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル	
		6	アファーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	ハスモンヨトウ	速	中	乳剤	散布	レピメクテン	
		28	ブレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、シロオビノメイガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントリニプロール	
		29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300g)	25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
		13	コテツベイト	は種時~2葉期まで但し、収穫14日前まで	1回	3~6kg	—	ホウレンソウケナガコナダニ	中	長	粒剤	全面土壌散布	クロルフェナビル	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ラッソー乳剤	播種直後	1回	150ml (100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
		アーザラン液剤	播種後~子葉展開期	1回	秋播き: 600~800ml (100~200g)、 春~初夏播き: 800~1000ml (100~200g)、 但し、芽出し播きは800ml (100~200g)	一年生雑草	液剤	全面土壌散布	アシュラム	
		クロロIPC	播種直後	1回	100~200ml (70~100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC	
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫7日前まで)	1回	150~200ml (100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草葉面散布 又は全面散布	セトキシジム	

※ランネット45DFは削除となりました。